

農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	中国四国農政局
-----	---------

都道府県名	徳島県	関係市町村名	那賀郡那賀町
事業名	農村地域防災減災事業	地区名	木沢2期
事業主体名	徳島県	事業採択年度	平成26年度

〔事業内容〕

事業目的：

本地区は、徳島県南部に位置し、小島、大用知、寒谷、高山平の地すべり防止区域により構成され、特産であるすだち、ゆずなどの栽培が行われている中山間農業地帯である。

本地区は台風常襲地帯である四国山地の南東斜面に位置するため、特に台風の接近通過時に集中的に大雨の降る傾向があり、たびたび日最大降水量の日本記録を塗り替えるような日本でも有数の多雨地帯である。

本地区の地質は、秩父帯の砂岩・泥岩・蛇紋岩で構成されており、破碎された地層が多く、風化の影響も受けやすい。この地層に豪雨等で地下水が流入することで、せん断抵抗力が低下し、地すべりが発生しやすい状況となる。

このため、本地区で地すべり対策事業を実施し、農地、農業用施設並びに人家や公共施設等の被害を除却、または軽減し、農業生産基盤及び生活基盤の維持・保全を図るものである。

受益面積：137.6ha

主要工事計画：

排水ボーリング工	2 km
排水路工	0.3km
集水井工	1 か所
承水路工	0.2km
土留工	1 か所

総事業費：273 百万円（計画総事業費：273 百万円）

工期：平成26年度～令和9年度（計画工期：平成26年度～令和9年度）

関連事業：なし

〔項目〕

ア 事業の進捗状況

本事業の地すべり防止工は、令和6年度までに7ブロック中、4ブロックを実施しており、進捗率は、90.7%である。

① 計画工期に対して著しい変更は認められないか
計画どおりであり、変更はない。

② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか
地元負担なし。事業について関係者との合意形成が図られている。

イ 関連事業の進捗状況

該当なし。

- ① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。
- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか
該当なし。

ウ 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか
計画どおりであり、変更はない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか
計画どおりであり、変更はない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

本地区は、実施計画の変更以降に大きな変更はなく、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の20%未満であるか
計画変更（令和6年10月）以降事業量の変更はない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか
那賀町の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果
(B/C) 20.95

オ 環境等の調和への配慮

本地区では、工事の際に環境負荷の低い機械を使用している。

カ 事業コスト縮減等の可能性

該当なし

キ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

那賀町及び地すべりブロック内の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。

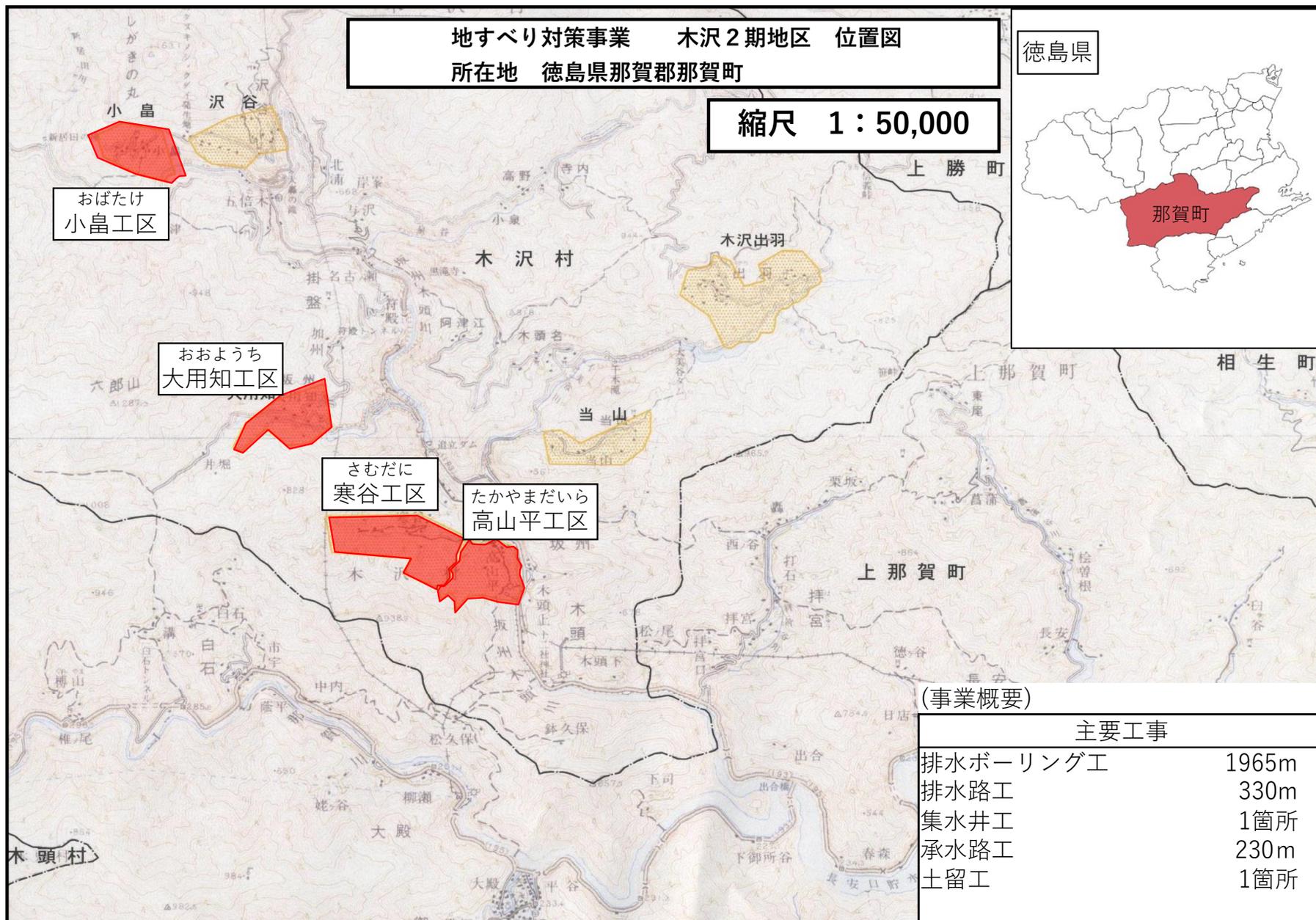
ク その他

計画変更確定日：令和6年10月7日

事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和7年度予算を要求する。
第三者 の意見	

補助金 交付の方針	
--------------	--

農村地域防災減災事業 木沢2期地区 事業概要図【No.39】



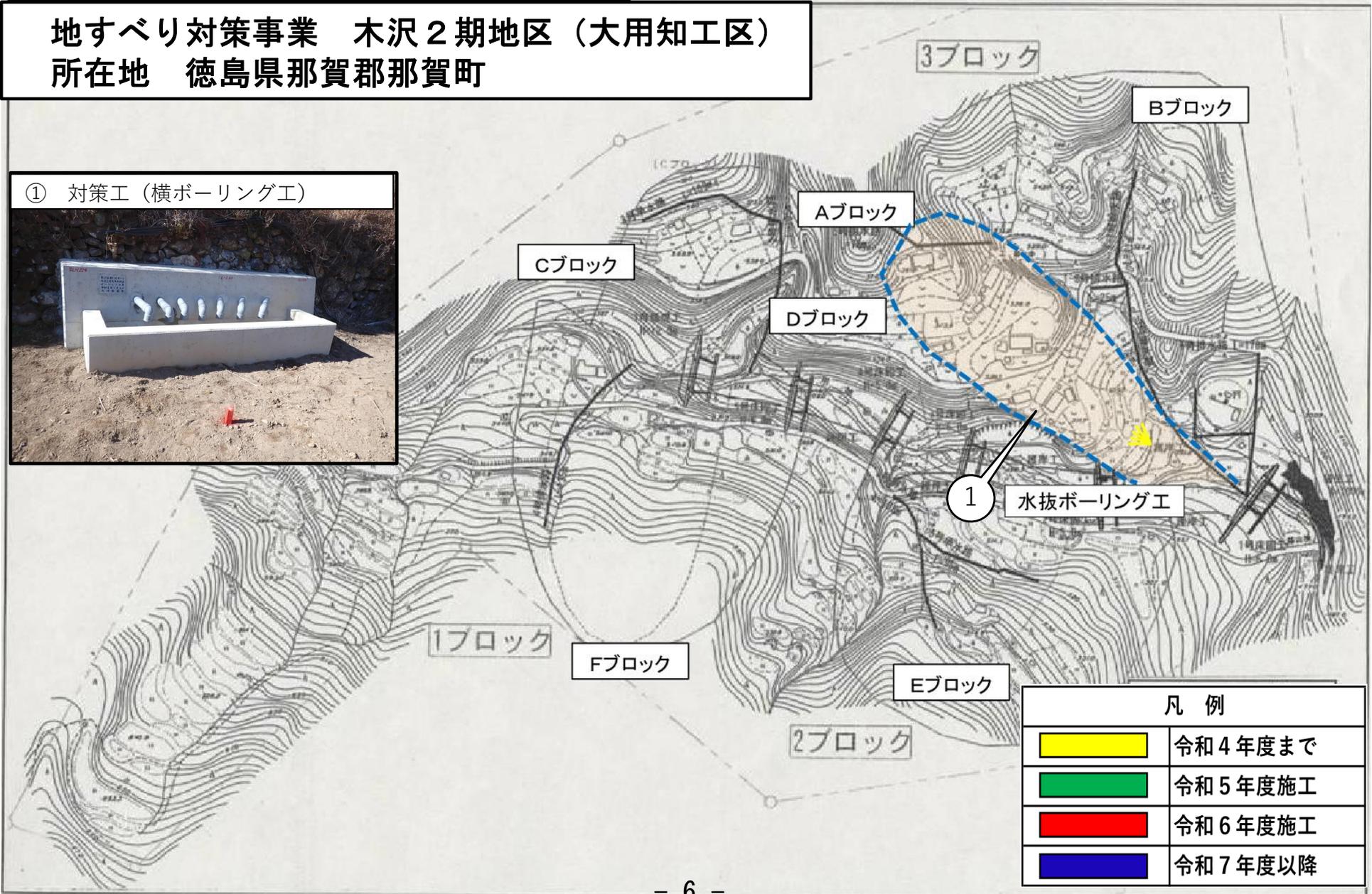
農村地域防災減災事業

きさわ

「木沢2期地区」事業概要図

地すべり対策事業 木沢2期地区（大用知工区）
所在地 徳島県那賀郡那賀町

① 対策工（横ボーリング工）

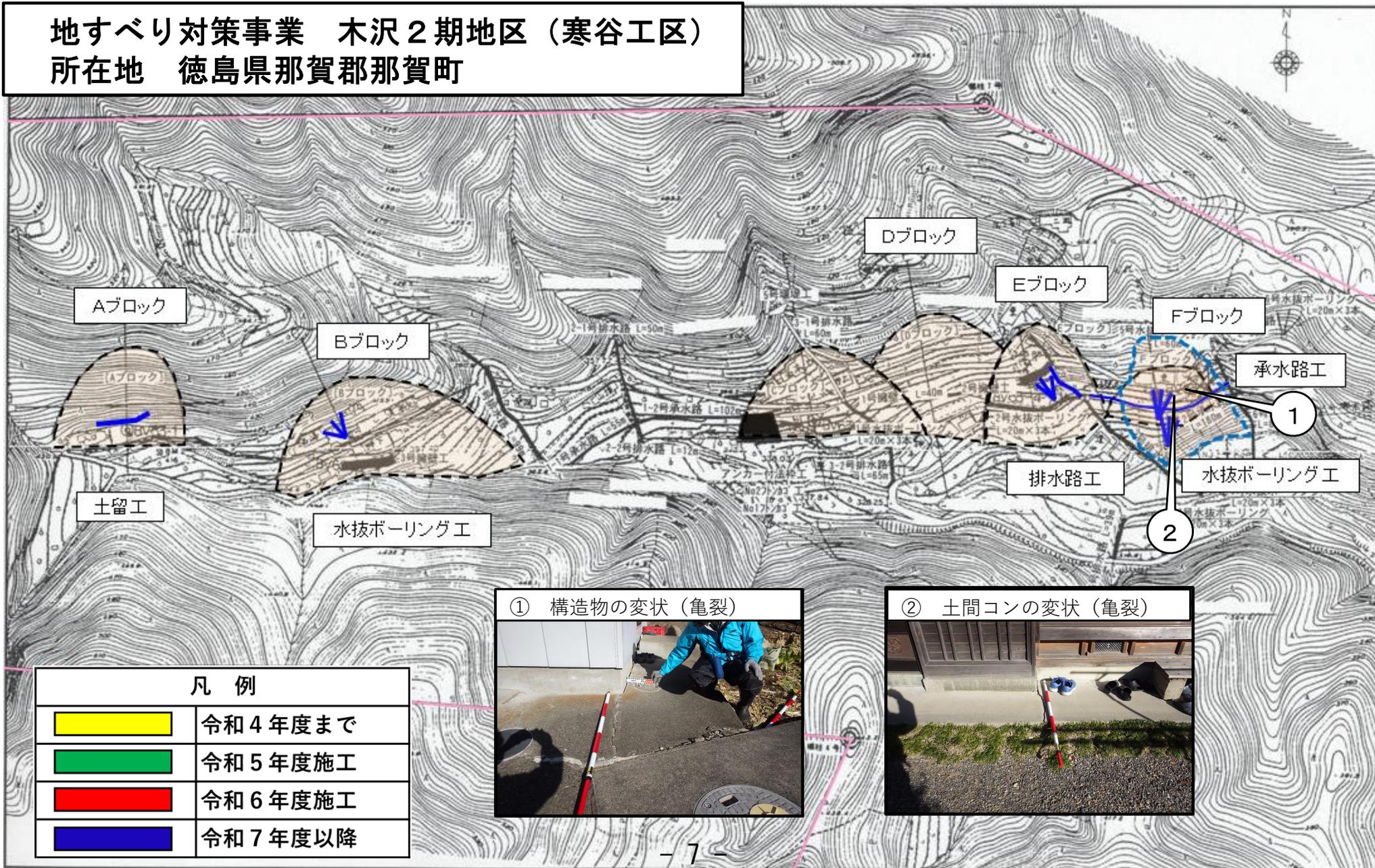


農村地域防災減災事業

きさわ

「木沢2期地区」事業概要図

地すべり対策事業 木沢2期地区（寒谷工区）
所在地 徳島県那賀郡那賀町



① 構造物の変状（亀裂）



② 土間コンの変状（亀裂）



農村地域防災減災事業

きさわ 「木沢2期地区」事業概要図

地すべり対策事業 木沢2期地区（高山平工区）
所在地 徳島県那賀郡那賀町

① 石積のはらみだし



② 宅地内の変位



③ 土間コンの変状



④ 対策工（集水井工）



凡例	
	令和4年度まで
	令和5年度施工
	令和6年度施工
	令和7年度以降

排水路工

Cブロック

Bブロック

Aブロック

4

1

2・3



費用対効果分析に関する説明資料

事業名	地すべり対策事業	都道府県名	徳島県	地区名	木沢2期
-----	----------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総事業費	①	273,000 千円	
被害想定額	②	5,721,611 千円	
費用便益比	③ = ② ÷ ①	20.95	

注) 費用便益比については、被害想定額を総事業費で除する簡便な手法により算定

2. 被害軽減評価額の内訳

(単位：千円)

被 害 項 目	評 価 額	被害軽減の内容
農業資産の被害軽減効果	1,169,990 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設等：農地、水路等
農作物の被害軽減効果	38,691 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象作物：水稻、ゆず等
一般資産被害軽減効果	2,216,540 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設：家屋、倉庫等
公共施設等被害軽減効果	2,296,390 千円	防止施設の設置により、地すべり災害発生を防止 対象施設：町道
計	5,721,611 千円	

3. 評価に使用した資料

【費用】

- ・当該事業費に係る一般に公表されていない諸元は、徳島県農林水産部生産基盤課調べ（令和6年）

【便益】

- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知）一部改正令和4年4月1日3農振第2901号）
- ・効果算定に必要な各種諸元は、徳島県農林水産部生産基盤課調べ（令和6年）